

科目	ゼミナールⅣ(Q)	担当	北野 達也	履修学年	4年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

ゼミナールⅣ(後期)では、ゼミ生各々が4年間の集大成となるべく卒業論文完成を目指し、論文構成、卒論発表会予行演習、プレゼンテーション等を実施、これらを通し、研究の意義、論文作成の重要性や演習技法を習得する。さらに、社会人としての心構え、企画力、段取り力、予備力を養い実践できるよう人材育成、ゼミ生各々が、さらに視野を広げ、目標に向いやりがいを見出すことができるよう指導する。  
※個別面談、病院実習等適宜行なう。★11月末卒論提出/12月卒論審査会実施/1月卒論発表会実施

**【履修注意】**

携帯電話電源切又はマナーモード、飲食禁、講義中入退室禁

**【評価方法】**

- ①出席状況による評価:30%(毎回シリーズゆえ、出席が最低条件!)
- ②授業参加、討論、発言、毎回のレポート、グループワーク、研究発表など総合的な評価:20%
- ③卒業論文による評価:50%

**【試験について】**

参加型授業であるので実施しない。※但し、出席日数の不足、総合による評価が40点未満の学生は不合格とする。

再試験対象者の条件:なし

**【予習・復習】**

各回授業内容に応じ、授業前予習(専門用語、関連文献等の検索)、授業後の復習として、学習内容についてまとめ、国内外関連文献検索等によりさらに知識を深めること。※1コマ当たり90分を目安に予習・復習を行うこと。

**【教科書】**

購入教科書なし

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	Introduction	ゼミの進め方について、ゼミ生自己紹介、進学・就職(卒論指導)
2	卒業論文要綱について	卒業論文作成についての注意事項説明、卒論要綱(卒論指導)
3	情報収集、文献検索	卒業論文再評価(客観的評価、意見交換)(卒論指導)
4	卒業論文完成	論文構成、目次、要約、本論、結論等校正、再確認(卒論指導)
5	卒業論文発表・提出に向けて	卒業論文発表、提出に向けて準備(卒論指導)
6	プレゼンテーションⅠ	卒論審査会:予行演習(卒論指導)
7	プレゼンテーションⅡ	卒論発表会:予行演習(卒論指導)
8	まとめ	1~7まとめ(レポート):課題レポート作成(卒論指導)
9	プレゼンテーションⅢ	卒論発表会:予行演習(卒論指導)
10	プレゼンテーションⅣ	卒論発表会:予行演習(卒論指導)
11	最近の知見についてⅠ	Topic:課題レポート作成 社会人基礎力・学士力強化(卒業指導)
12	診療報酬改定のあり方	医療制度改革:グループ・シミュレーション(卒業指導)
13	最近の知見についてⅡ	Topic:課題レポート作成、大学院進学指導(卒業指導)
14	医療業界で働くために	医療人としての心構え:課題レポート作成(卒業指導)
15	社会貢献のために	人として何をすべきか?社会人基礎力、学士力とは?(卒業指導)
16	総まとめ	全体のまとめ:総評(卒業指導)